

令和6年9月定例会市議会 市長行政報告

皆さん、おはようございます。

9月定例会市議会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、御多忙の折にもかかわりませず御参集をいただき、厚くお礼を申し上げます。

議案等の説明に先立ちまして、行政報告をさせていただきますが、まずは8月30日から31日にかけて本市に接近した、台風10号に伴う対応等についてご説明いたします。

本市では、台風10号の接近に伴い、8月28日から災害対策会議を開催し、8月30日13時に災害対策本部を設置いたしました。

台風が最接近する時間帯や、満潮時刻等を踏まえ、同日15時に市内全域に「警戒レベル3 高齢者等避難」を発令するとともに、避難所22か所を開設いたしました。

避難所では14世帯21人の受け入れを行い、翌31日7時の災害対策本部廃止に合わせて閉鎖いたしました。

被害の状況としては、30日夜に発生した玉6丁目地内の倒木1件のみであり、倒れた木は31日中に撤去済みとの報告を受けております。

引き続き今回の台風の検証等を行い、今後の災害対応に活かして参りたいと考えております。

それでははじめに、リフレッシュ瀬戸内についてです。

リフレッシュ瀬戸内は、瀬戸内海に面した県・市町村と国土交通省の関係地方整備局で構成された、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の主催による海浜の清掃活動で、今年度で31回目を迎えました。

本市でも渋川海岸が清掃場所となっており、7月7日の暑い中、昨年度を上回る41団体、746名の方にご参加いただき、850kgのごみを回収いたしました。

今年は瀬戸内海が国立公園指定90周年を迎えた節目の年です。今後
もこうした活動を続けることで、美しい瀬戸内の海と白砂青松の砂浜を
守り、県下最大の渋川海水浴場を将来にわたって維持することに努めて
参ります。

次に、国・県等に対する提案活動についてです。

本市の令和7年度重点施策提案につきまして、国に対しては氏家議長
にもご同行をいただき、提案活動を行いました。

提案内容としては、「児島湖関係流域の保全施策の充実」「重要港湾の
整備・利用促進」などのほか、新規項目として「地域・日本の新たなレ
ガシー形成事業『瀬戸内産業芸術祭』への支援」「地域医療構想の実現
に向けた支援」「地域の防災拠点となる新庁舎整備の支援」の計9項目
につきまして、国会議員及び国、県の担当部局を回り、提案を行ったも
のであります。

また、7月18日には安全・安心な県土づくり総決起大会に臨み、岡
山県をはじめ、県議会、県内市町村長並びに市町村議会議長と共に、国
土強靱化に向けた取組の推進のため、関係省庁や国会議員に提案活動
を行いました。

さらに、同日開催された全国クルーズ活性化会議では、昨今のクルー
ズ振興や誘致にかかる情報共有のほか、国土交通省及び船社に対し、さ
らなるクルーズの振興を目指し、要望書を提出いたしました。

今後も機会を捉え、本市の発展並びに課題解決に向け、関係機関に対
し積極的な働きかけに取り組んで参ります。

次に、国際交流事業についてです。

平成16年7月23日に、アメリカ合衆国マサチューセッツ州のグロ
スター市と玉野市が姉妹都市縁組を締結し、今年で20周年の節目を迎
えました。

締結20周年当日となる7月23日には、グロスター市のグレッグ・

ベルガ市長らとオンラインミーティングを行い、長きにわたり本市の中
高生のホームステイ受け入れなど、交流が続いていることに対し感謝の
意を表し、引き続き交流を深めていくことを確認しました。

また、7月23日から28日には「グロスター&玉野 姉妹都市締結
20周年記念展」と題し、玉野市立図書館前スペースで、グロスターホ
ームステイ参加者からのメッセージをはじめ、交流年表や姉妹都市協定
書、グロスター市ゆかりのものなどを展示し、市民への周知を図りまし
た。

続いて、友好都市であります中国江西省九江市との交流につきまして
は、昨年度に引き続き、今年度も「玉野市青少年江西省訪問プロジェク
ト」として、8月18日から24日までの7日間、玉野市からは20名
が九江市をはじめとする諸都市を訪問・視察いたしました。

今後も、海外の各市との絆を一層深め、国際交流を継続・発展させたい
と考えております。

次に、玉野まつりについてです。

去る8月3日、第55回玉野まつりおどり大会が開催されました。

当日は18団体、約500人の踊り連が参加し、昨年度を超える約
6,000人の方が来場されました。

太鼓のリズムに合わせて、「かつからか」をはじめ、「花咲く玉野」や
「玉野いきいき音頭」で舞う踊り子たちを見ていると、地域の強い絆を
感じました。

玉野まつりは、市制30周年を記念して昭和45年から開催され、現
在まで50年以上続く玉野市の夏の風物詩であります。

これからも市民の皆様にも愛され続けるよう魅力を高め、次の世代へ継
承して参ります。

次に、南海トラフ地震についてです。

去る8月8日17時頃、宮崎県沖の日向灘を震源とするマグニチュー

ド7. 1の地震が発生しました。

気象庁から南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表され、本市も警戒体制を取りましたが、市内での地震による被害報告はございませんでした。

南海トラフを震源とする大地震は、今後30年以内に発生する確率が70～80%と言われており、平時から地震に備えた対応が求められます。

本市といたしましても、大規模地震発生に備えて、引き続き防災意識の向上と災害への備えに努めて参ります。

次に、高校生との意見交換会についてです。

去る8月10日、玉野産業振興ビルにて、NPO 法人玉野SDGsみらいづくりセンターが主催する「ゼロイチラボ」が開催されました。

これは、市内の高校生に「やりたいこと」を見つけてもらう事業で、今回は主に玉野のまちづくりをテーマに話し合っていました。

当日は高校生13名と卒業生、みらいづくりセンターのスタッフなど34名が参加され、グループに分かれて意見を交わしました。

私もグループに参加しましたが、高校生ならではの視点で、実現可能性が高そうなものから夢溢れるものまで多岐にわたる意見があり、若い世代の思いやエネルギーを大いに感じる機会となりました。

今年度は、新たな「たまの創生総合戦略」策定の年であり、少子高齢化・人口減少が進行する中でも、「誰もが行ってみたい、住み続けたいまち」を実現できるよう、若い世代の意見も積極的に取り入れながら、戦略策定を進めて参ります。

次に、遺伝子解析結果活用事業についてです。

本年3月に、玉野市民の健康増進を図るため、遺伝子解析を活用した健康づくりの取り組みに際し、産官学で連携協定を締結したところですが、8月18日にショッピングモールメルカで岡山大学と共同で遺伝を

テーマにした市民公開講座を開催しました。

当日は約100名の市民の皆様にお越しいただき、岡山大学病院の認定遺伝カウンセラーによる講演や体験型ゲームなどを通して、遺伝情報を使った健康管理や遺伝の仕組みについて、理解を深めていただきました。

今後は、9月の事業説明会などを経て、10月から玉野医療センターにおいて遺伝子解析結果活用事業を開始する予定です。

以上、行政報告をさせていただきましたが、本日から開会されます9月定例会市議会においては、報告事項3件、決算議案9件、予算議案2件、条例議案5件、その他議案4件の合わせて23件を提案しております。

この後、報告事項及び各議案についての御説明をさせていただきますが、議員各位におかれましては本会議及び常任委員会において御審議を賜りますようお願い申し上げます。